

第12回 本町田地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2023年1月20日（金） 9：58～10：46	
開催場所	町田第三小学校 3階 図書室	
出席者 (敬称略)	委員	末吉委員、渡邊委員、高柳委員、永山委員、日高委員、手塚委員、野口委員、越水委員、中湊委員、小原委員、本城委員、◎若月委員、大波多委員、西山委員、○杉本委員、大谷委員 (◎会長 ○副会長)
	事務局	学校教育部長、教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容（敬称略）

会長 次第の1に入る前に、本日は町田市教育委員会の学校教育部長が参加しているので、議事に入る前に一言。

学校教育部長 町田市教育委員会学校教育部長の石坂です。
検討会委員の皆さまにおかれましては、2021年12月に本検討会を設置して以降、全12回の検討会にご出席いただき、忌憚のないご意見をいただきながら、議論していただいたことに感謝申し上げます。また時には、暑い中で通学路の現地確認などをしていただいたことに、重ねて御礼申し上げます。

検討会での議論には、通学路の安全確保のように今からでも対応していくことが求められることから、施設の開放や保護者組織のように今後の設計や、これから本格的に検討を進めるものまで広くありました。

検討会は本日を持ちまして閉会となりますが、2023年度以降も引き続き新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、仮称ではございますが本町田地区新設小学校新たな学校づくり推進会を設置して、保護者代表や地域代表、学校代表の方々と本事業の進捗状況を確認していくとともに必要な意見交換を行わせていただきたいと考えております。

引き続き皆さまのご協力を重ねてお願い申し上げます。御礼とさせていただきます。ありがとうございました。

1 第11回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1説明）

2 本町田地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書（案）について

新たな学校推進課 （資料2 説明）

事務局提案による修正について説明。

会長 （資料2 説明）

前回検討会を踏まえた修正について説明。

3 今後のスケジュールについて

新たな学校推進課（資料3説明）

会長 検討会は閉会となる。最後に、検討会の振り返りや、統合に向けての思いについて各委員から一言いただきたい。

委員 私自身関わらせていただいて、すごくよかったなという思いが今強くある。やっぱり保護者の中には統廃合に対して反対されている方も多々声を聞く中で、いつか避けては通れない、こういう統廃合の計画であると思う。その大事な瞬間に、学校だけじゃなくて地域とか放課後とか、いろんな視点からこの新たな学校をどうするかという話に自分の意見を出せたりとか、皆様の意見を聞けたりしたことは、本当にいい機会をいただいたなと思う。

私は、第4子が新しい小学校に4年生のときに入っていくという、1回、引っ越しを経て、また新設の小学校に入るというところも見届けられるのはすごくうれしいなと思っている。この機会をいただいたので、引き続き関わっていきながら未来の子どもたちのために何かできたらいいなと思っている。本当にどうもありがとうございました。

委員 私は、学校に全く関わってこなかったが、去年初めてPTAを引き受けて、たまたまこういった機会をいただいた。また我が家も4子が小学校1年生で統廃合になるということで、これは関わらないといけないなという、自分で勝手に使命感に駆られて、この場でいろんな方と出会えて、本当に地域の方たちの温かさとか、皆さんの力のすごさというか、そういうのを体でひしひしと痛感して、ここで会った保護者の方とも、統廃合後、また何か機会があったら役員をやろうねとかお話しもして盛り上がった。未来に向けて、いろいろどんどん変わっていくのは仕方がないことなので、そこに寄り添って、親もみんな協力していい学校生活が送れるようにサポートしていけたらなと思っている。ありがとうございました。

委員 4月から検討会委員になったが、1回1回の検討会で皆さんの意見を聞いて、地域への愛をすごく感じる事ができた。今後も推進会で少しでも力を出していけたらなと思っているので、今後もよろしくお願いします。

委員 最初から、とにかく子どもたちがわくわくしながら新しい学校を待てるようなものにしていきたいということでいろいろ意見を出させていただいた。やっぱりそれぞれの学校にはいろんな歴史があって、多分、寂しいという思いの方もたくさんいらっしゃると思う。地域の方もそう。でも、どうせだったら新しい学校をわくわくし

ながら、子どもたちだけじゃなくて地域自体も新しい学校ができることが楽しみだ
など、また、前よりも学校がずっと地域に近くなったねみたいなのになれるよう
に少しでも力を出せたらなというふうに思っている。ありがとうございました。

委員

町田第三小学校のOB会、いなほ会の方たちの代表として来ていると思っている。
皆さん地元の方たちは、自分の親世代がつくった学校で、自分も学んで、自分の子ど
もも孫もこの町三小で学んだ方たちが多いので、やっぱりなくなってしまおうとい
うことに対してかなり拒否反応があったことは確かなので、これから時間をかけて新
しい学校について、皆さんが納得できるようにどんどん説明させていただきたいと
思っている。ありがとうございました。

委員

この新たな学校づくりの委員として関わってきたが、これからはある程度の基本
計画が決まって、さらに建屋の中の部分とか、これから進めるところというのは非
常に大事な部分だと思う。今後も委員として、恐らく入ると思うので、そこでやっ
ていきたいと思っている。

それと、町三小、本小、本東小、この3つの学校が1つになるということは、この
地域の保護者だったり、子育て世代の人たちへの影響というのはすごくあると思う。
先ほどそういう話もあったけれども、このメンバーの中で、どういう気持ちでこれ
からまたさらに進めるかというところでは、やはり町三小においては、改めて考え
ると、昔は、学校に土地を提供している方がおられたという話を聞いている。恐らく
この町三小の跡地を、やはりそこも含めた形で今後進めていただきたいな、お願い
したいなと思っている。

この町三小にどんな思いの跡地の施設をつくるかというのはこれからだと思うの
で、よろしくお願ひしたい。

委員

今まで1年間、基本計画ということで進めてきているが、これはこれで非常に大
切ではあるが、むしろこれからの推進会のほうが具体的な動きとして、これからや
らなくてはいけないこと、もっともっと今までよりも大勢の方が関わってこなくて
はいけないのではないかとこのところが、非常にやっていくことが大変な時期では
ないかなというふうには思っている。

推進会という形で2028年までということだが、実際には推進会委員じゃなくて、
ほかの人たちの関わりが物すごく出てくるんじゃないかというのは当然のことだ
が、そこがうまく流れていければいいなというふうに思っている。

委員

私も4月から参加をさせていただいてきたが、回を重ねるごとに、本当に会に参
加している重責といいますか、責任が本当に重いものなんだなということを感じ
るようになった。

それで、本町田小は2025年にまず最初に本町田東小と統合するというところで、も

う本当にいよいよ待ったなしの状態に入ってきたなと思っている。今、各委員の皆様からのお言葉もあったが、今後、具体的に考えて、さらに検討して実施していかなければいけないことというのが本当にたくさんあると思うので、その中で統合する学校の副校長としてこれからはいろいろ本当にやっていかなきゃいけないなというふうに改めて感じている。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員

私は、実は皆様より1年早く、新しくつくっていく学校のハード面をどんなふうにしていくのかというところで、PTAの会長として関わらせていただいた。そのときから本当にもうわくわくして、新しい学校ってどんな学校になるんだろうと。残念ながら、うちの子は卒業するのでその学校に行くことはできないが、新しい学校に行く子どもたちは本当にいい環境で教育が受けられてうらやましいなというような思いで今日まで関わらせていただいた。来年6年生なので、もう1年、皆様と一緒に、次の新しい学校に向けてどういうふうになっていくのかというところを見させていたきたいなというふうに思っている。

本町田地域、私は、実は町田市に引っ越してきて5年目。4年間、PTAをやって、まだまだ5年目。ただ、その5年間の中で非常に強く感じたのが、この地域の方々の力の強さ、地域を支えていらっしゃる皆様が本当に力を持っていらっしゃる、多くの方々のおかげで子どもたちがすくすく育っているという環境は、本当に、こんな地域がまだあるのかと思うような思いで子育てをさせていただいた。地域の方々の支えのおかげで、やっぱり課題が多くある子どもたちも何とか学校に通いながら、課題をクリアしながら大きくなっていっているなというのをPTAの会長をしているときに強く感じた。これからは地域の方々の支えがありながら子どもたちが育っていけるような新しい学校になっていけばいいなというふうに思っている。1年間、ありがとうございました。

委員

本日で新たな学校づくり検討会は12回を迎え、全ての回に参加したが、果たして私はお役に立てたかどうかと思っているところ。振り返ると、第1回目ときには、長い歴史を持つ町三小はどうしても残していかななくてはと、私は、母の代、そして私、息子、今現在、孫もこの学校でお世話になっている。そのようなことで、どうしてもどうしてもという気持ちはとてもあった。そして、恩田川を背にし、盛土をし、今の高さにして、どうにかこの学校に新しい学校を建てられたらという意気込みだった。そして、声を高く上げたかったと思ったが、やはりお話を聞き、簡単なわけにはいかないこと、本町田東小に新しい学校と決まっていたこともあり、私も心を入れ替え、そして、子どもたちが楽しく安全に学校に通学できたら、そして、地域の方々にも愛される学校ということで、学校づくりの検討会に出席させていただいた。

跡地につきましては、町三小がここにあったのだという、残せるものは残してい

ただき、そして避難場所に、そして憩いの場所にというふうな気持ちを願っている。
ありがとうございました。

委員

私は高齢者のほうにも関係していて、住民の方がほとんどこういうことをあまりよく把握していらっしやらない、特に高齢者の方は意見をきちんと持っていらっしやる方も多い。そういう方で大変ちんぷんかんぷんで納得いかないという方にも接している。私は、おかげさまでここに立たせていただいて、校長先生、あと若いお母さんからなどいろいろなご意見を伺って、住民の高齢者の方と若いお母さんたちの橋渡しにでもなればいかなんて思っている。私は学校統合は賛成ではあるので、高齢者の中でも状況を知らない方、わからない方にうまく説明するような立場になりたいなと思っているので、よろしく願いいたします。

委員

ご縁あって校長として今年度もこの会に参加させていただいて、副校長時代からすごく実感していたものは、地域の思いというのが、やはりこの検討会の中でもしっかりと出ていて、いい学校、子どもたちのためにどういう学校をとるところの話合いが本当に進んできた、この12回の会だったのかなというふうに思った。

私のことでお話しさせていただくと、実は私自身、自分の小学校がもう既に統合されており、3校が1つになってしまっている。都内だが、今、私の出た学校はコミュニティ会館みたいな形で利用されているような状況で、たまに実家に帰ると、そこでいろんな方がテニスをしたり、体育館を利用したりというような様子が見られる。それはそれで本当に地域の活性化になったのかなとは思っているが、先ほどもあったように、それぞれの学校の跡地がどういう利用をされていくのかというのは、まさにこれからなのかもしれないし、やはりそれもきちっと市民、本町田地区の住民の皆さんの思いをしっかりと受けて今後考えていくことになるのかなと思う。私自身は、まだこの先の、来年度以降の推進会のほうで、現場の人間として、これからはまさにいろんなことを進めなきゃいけないというところの、またすごく大きな重責を感じながらやっていければと思っている。

もう一つ、区内の小学校で教員をスタートしたが、その学校も実を言うと統合されている。私はその最後の年の卒業生を出したということがあり、やはりそれも何かの縁なのかな、じゃ、そこで自分が何ができるのかなということを今後考えながらやっていきたい。引き続きいろんな声を聞きながら、現場としていい方向に行けるように尽力したいと思っているので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

委員

まず、私自身のことからお話をさせていただくと、私の小学校の入学が、今、消防署になったところで入学させていただいて、卒業したのが、今の桜美林になったところで中学校も卒業させていただいたので、子どもの頃から本町田小の端っから薬師池の端っまで自分自身が遊んで回っていた地域なので、3校が統合されると

というのは、自分にとってはとても感慨深いものがあるというか、楽しみだなと思っている。

今回、このお話しをしたことで、学校同士も連携を取っていかなくちゃいけないということで、今とてもこの3校で学校同士、連携を取り合っている。よりよい終わりになるように、そして、子どもたちにとって、皆様からお話があったように、わくわくするような学校になれるよう、副校長としても今後もお協力させていただければと思っている。1年間、どうもありがとうございました。

委員

私の娘は今小学校4年生なので、ちょうど卒業した翌月に東小の皆さんが本町田小と一緒にスタートを切るという学年なので、実際、自分がどこまで関われるかというところはある。ただ、子どもたち、お母さん、お父さん、保護者、卒業生の方、地域の方が悲観的に、何で統廃合しちゃうんだろうという思いではなくて、早く統廃合という気持ちになれるようにバトンを引き継げたらと思っている。今回、検討会は本日をもって終わるが、今度の推進会でまた自分の意見など、プラスなことをほかの保護者様とかにお伝えできたらなと思うので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員

私の娘も実は5年生なので、統廃合の前に卒業となるが、やはり同級生の下のお子さんたちというのが、小学校と中学校のどちらの統合にも関わっちゃうのよねという人も結構いたりして、今回こういう会に出させていただいて、こういうふうに時間をかけて学校名を決めたりだとか、通学路の安全性を確認したりだとかということをやっているんだよ、多分、中学校のほうも同じようなことをやるんだよというようにことをさせていただいたりとかできたのはすごくよかったと思う。

ニュースなんかにもなっていましたけれども、よその地域で統合する小学校の名前が大変なことになっていたが、そういうふうにならないためにも、こういった場で何度も何度も議論を重ねていくということはやっぱり大事なんだな、市民の声、住民の声というのを大事にしていかないと、新しい学校というのも難しいのかなというふうにちょっと考えたニュースがあった。

あと、中学校のほうも結局関わってくることなので、小学校のこういった中でも、じゃ、ここの新しい学校になった子たちの進む中学校というのが何年後に統合されて、どういうふうな形で学区が変わっていくのかというのもお知らせいただけるといいのかなと思った。

会長

最後に私から。本当にあっという間ですごく長い1年間だったなという気がしている。暑いときから寒いとき、時にはクリスマスイブの前日にまで会議で集まるといことも。夜遅くまで、皆さんお忙しい中、都合をつけていただいて集まっていた、本当に中身の濃い話し合いができた。

私自身は、こうやって地域の皆さん、それぞれの地域の方とこうやってお知り合

いになれたというのが、まず一番だなというふうに思っている。きっと今後もいろいろお付き合いさせていただくことになると思うので、そのときに、またご一緒にできるのが楽しみ。

また、本来でしたら本町田地区に長い方がこの会長になることもあると思うが、こんな役をいただいて、本当に私も町田で生まれたんじゃないのかなと自分で勘違いするくらい、皆さんの愛情にどっぷりとつかれたことが本当にうれしいと感じている。

私自身、管理職になる前、最後の担任が閉校した学校。最後の閉校した年、4年生の担任、たった8人のクラスだった。担任して、本当に最後、もう閉校の日までその8人と過ごしたが子どもたちは意外と、閉校の寂しさもあるけれども、次の学校の楽しさもすごく持っていた。すごくわくわくしながら次の年度を楽しみにしていたというのを覚えている。

なので、立場は変わったが、町三小も、本東小も、本小も子どもたちが次の学校に向けて本当にわくわく期待を高めていけるような、そんな気持ちに持っていけるように、この立場としてしていきたいなと強く思っている。

本当に皆様のご協力があってスムーズに進行できたと思う。ご協力、どうもありがとうございました。

では、以上をもちまして本町田地区新たな学校づくり基本計画検討会を閉会いたします。